

株主の皆様へ

第77期 中間報告書

2015年12月1日▶2016年5月31日

Contents

トップインタビュー

代表取締役社長 岩城 修 …P 1

セグメント別の概況 …P 3

イワキグループ会社のご紹介 vol.2 …P 5

上半期連結決算ハイライト…P 7

第5回株主様アンケート集計結果のご報告…P 8

小さな社会貢献活動への取り組み…P 9

イワキグループネットワーク…P 10

会社概要・株式情報 …裏表紙

イワキ株式会社

証券コード：8095

トップインタビュー



代表取締役社長
岩城 修

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

ここに当社第77期上半期（2015年12月1日から2016年5月31日まで）の事業概況をご報告し、今後の見通しをご説明させていただきます。ご一読の上、当社事業へのさらなるご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2016年8月

■ ■ ■ 経営の基本方針 ■ ■ ■

当社グループは、社業を通じ社会に貢献することに誇りと喜びを持ち、「お客様（社会）を大切に思う心を常に忘れない会社」を目指し、提供する商品・サービスを通じ、お客様と常に「感謝し、感謝される関係」を築き、共存共栄することによって、顧客企業の発展と株主の利益拡大に寄与するとともに、社会その他すべての関係者への責任を果たし続けることを経営の基本方針としております。

表紙写真：「弘前城」
表紙の写真は、渡辺宣様から作品をご提供いただきました。

Q 1 この第2四半期までの営業状況と連結業績についてお聞かせください。

A 1 医薬・FC事業が躍進し、減収・減益ながら期初予想を超える業績となりました。

当社グループは、創業111周年を迎える2025年11月期へ向けてグループ中長期ビジョン「Vision “i-111”（アイ-トリプルワン）」を掲げ、その第1段階として、2018年11月期を最終年度とする3か年中期経営計画を推進中です。計画初年度の当期は、お客様の課題を解決する「策揃え」に対応した新組織体制に移行し、グループ機能を活かした着実な成長と利益の確保を目指しています。

第2四半期までの営業状況は、化学品事業および食品事業が低調に推移し、HBC事業も前年同期の利益を下回ったものの、医薬・FC事業が躍進し、全体では減収・減益ながら期初予想を超える業績となりました。

医薬・FC事業は、ジェネリック医薬品原料の拡販に注力しつつ、新薬メーカーには長期収載品用の安価な原料や中間体の提案、一般用医薬品メーカーにはビタミン剤のリニューアルに伴う新規原料提案に取り組み、医薬品原料分野の販売を大きく伸ばしました。医薬品分野では、安定供給化への設備投資と生産効率の改善を進めながら、調剤薬局や医療機関への積極的な情報提供に努め、主力外皮用剤全般の売上を拡大しました。

HBC事業は、一部のインバウンド消費対象品の落ち込みを受け、機能性食品原料および化粧品原料分野が低調に推移し、一般用医薬品を主体とした卸売分野も、新規自社

企画商品などが苦戦し、前年並みとなりました。通販化粧品分野は、積極的なテレビCMの投下・プロモーション活動により、主力製品群の販売を伸ばしました。

化学品事業は、表面処理薬品分野が新製品の投入の遅れや市場低迷の影響を受け、非常に厳しい状況となりました。表面処理設備分野では、中国ローカル企業との新規取引が拡大しましたが、企業の設備投資低迷の影響があり、全体としては低調に推移しました。

食品事業は、新規原料の提案活動と既存原料の拡販では、天然調味料などの販売が堅調を維持したものの、関連会社を軸とする受託加工は低調でした。

以上の結果、当上半期の連結業績は、売上高268億4千4百万円（前年同期比2.4%減）、営業利益3億3千1百万円（同16.8%減）、経常利益3億3千8百万円（同30.7%減）、四半期純利益9千5百万円（同54.8%減）となりました。

Q 2 通期の見通しはいかがですか？また、新たな事業展開についてご説明願います。

A 2 通期業績は増収・利益回復の見込み。予想数値は期初の見通しを継続します。

下半期の営業状況は、引き続き医薬・FC事業の好調が見込まれるものの、化学品事業の低迷が依然として懸念材料となっています。そのため通期の連結業績については、期初の見通しを継続し、売上高560億円（前期比1.0%増）、営業利益8億5千万円（同51.9%増）、経常利益9億

円（同29.6%増）、当期純利益4億5千万円（前期は1億4千3百万円の純損失）を予想しています。

なお当社グループは、新たな事業展開としてシンガポールのAllied Carbon Solutions Pte. Ltd.との業務提携を締結し、天然界面活性剤市場への参入を決定しました。同社は、非可食天然物「マファ」の種から抽出した油脂を発酵させ、天然界面活性剤を製造する高度な技術を有していません。今後、医薬品・化粧品・健康食品・食品の各事業分野における顧客基盤を活かし、同社製の天然界面活性剤を広く販売していきます。

Q 3 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A 3 より強固な事業基盤を築き、さらなる成長性の確保と収益力の強化を目指します。

このたびの中間配当は、予定通り1株当たり3円（前期同額）とさせていただきます。期末配当についても、今のところ同3円（前期同額）を予定しています。一層の業績向上を目指し、株主の皆様のご期待に応じて利益還元の水準を高めるべく努力いたします。

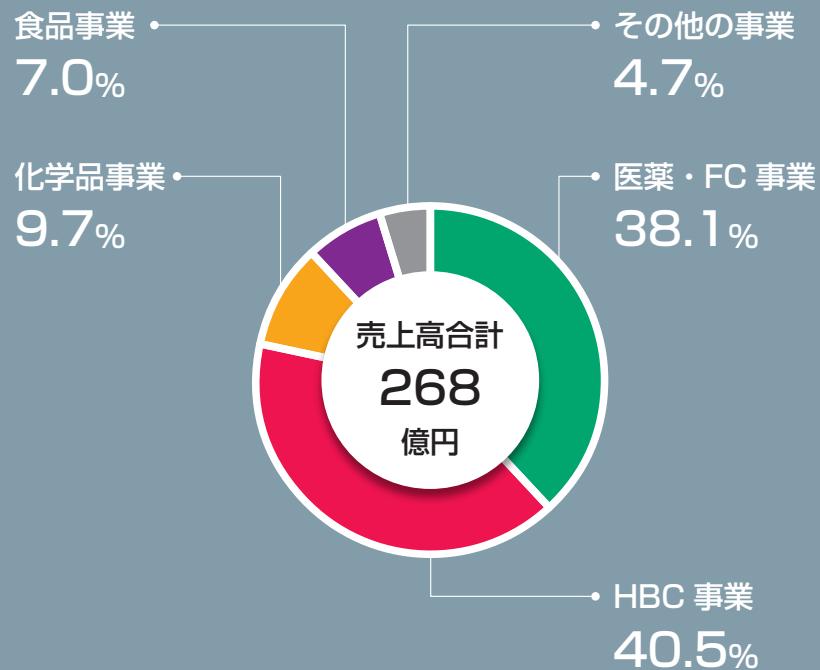
当社グループは、連結売上高1,000億円の実現に向けた中長期ビジョンと、そのための基礎を確立する中期経営計画を通じて、より強固な事業基盤を築き、さらなる成長性の確保と収益力の強化を遂げてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも厚いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

セグメント別の概況

お取引様の課題解決に向けた様々なニーズに当社グループのあらゆる機能で応える「策揃え」を実現し、変革スピードを向上させるため、プロダクツ毎のバリューチェーンに従って医薬・FC(Fine Chemical)事業、HBC(Health & Beauty Care)事業、化学品事業、食品事業の4事業にセグメントを再構築いたしました。

売上高構成比 (第77期上半期)



医薬・FC事業

■ 事業内容

医薬品・医薬品原料の製造および販売、体外診断薬・研究用試薬の卸売、医療機器の販売など

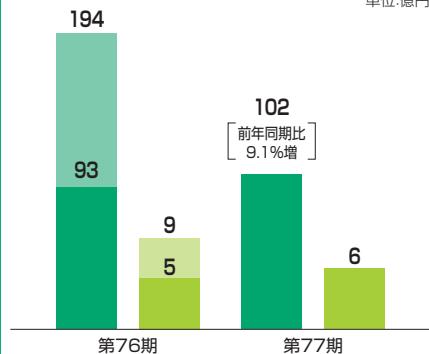


● 当上半期のポイント

- 医薬品原料分野において、ジェネリック医薬品原料、一般医薬品原料ともに販売が大幅に伸長。
- 医薬品分野において、ジェネリック医薬品の抗真菌剤をはじめとする主力外用剤の売上が大幅に伸長。

売上高および営業利益の推移

■ 売上高上半期・通期 ■ 営業利益上半期・通期 単位:億円



HBC事業

■ 事業内容

化粧品原料・機能性食品原料の販売、一般用医薬品および関連商品の卸売、化粧品の通信販売など

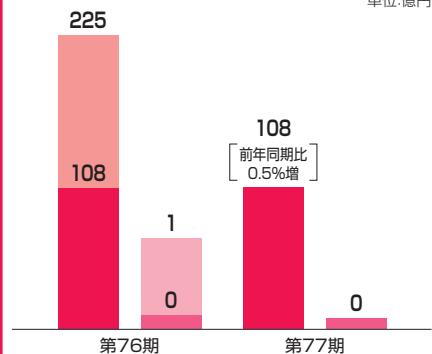


● 当上半期のポイント

- 機能性食品原料および化粧品原料分野は、全体として低調に推移。
- 一般用医薬品を主体とした卸売分野は、前年並みで推移。
- 通販化粧品分野は、主力製品の販売が伸長し、好調に推移。

売上高および営業利益の推移

■ 売上高上半期・通期 ■ 営業利益上半期・通期 単位:億円



化学品事業

■ 事業内容

表面処理薬品・電子工業薬品・化成品の製造および販売など

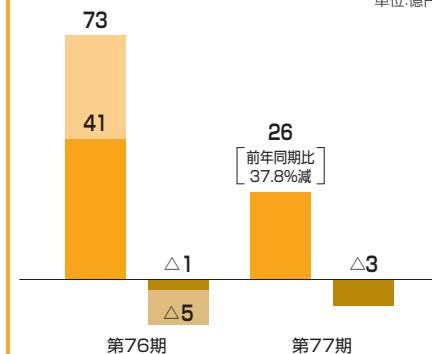


● 当上半期のポイント

- 表面処理薬品分野では、新製品投入の遅れや市場低迷の影響があり、非常に厳しい状況で推移。
- 表面処理設備分野では、各社の設備投資低迷の影響があり全体として低調に推移。

売上高および営業利益の推移

■ 売上高上半期・通期 ■ 営業利益上半期・通期 単位:億円



食品事業

■ 事業内容

食品原料の製造および販売など

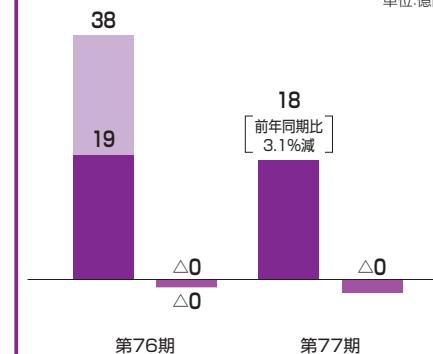


● 当上半期のポイント

- 新規原料の提案活動、既存原料の拡販活動、関連会社を軸とした受託加工の推進に取り組む。
- 天然調味料などの販売は堅調に推移、受託加工の推進は低調に推移。

売上高および営業利益の推移

■ 売上高上半期・通期 ■ 営業利益上半期・通期 単位:億円





お客様を見つめた活動を推進し、 選ばれる「ブランド」を目指します。

アプロス株式会社 代表取締役
鈴木 敦

Q 1 | アプロスの事業内容をコーポレートスローガンとともにご紹介ください。

アプロスは、イワキグループの企業として化粧品・健康食品の通信販売を行っています。現在、テレビ、インターネット、新聞、雑誌、チラシ等の各種メディアを通じてお客様に商品をご紹介します。

私たちのモットーは、お一人お一人のお客様を見つめた営業活動を推進していくことにあります。化粧品メーカーとしての原点を見つめ直し、結果のでる『ブランド』をご提供するために、商品、サービスの開発工程において【発見・仮説・検証・修正・評価】をお客様の目線で行います。

そして何より商品を使用する“楽しさ”や“優しさ”を優先し、その効果を心から楽しんでいただきたと考えています。

Q 2 | 化粧品および健康食品の製造販売に関わるアプロスとイワキの関係をご説明願います。

イワキグループでは医薬品をはじめ化粧品、健康食品などを原料から製品まで幅広く扱っています。しかしながら原料から製品の製造、小売店への流通がメインであり、お客

様に商品を直接販売しているのはアプロスのみです。したがって当社はイワキグループにとってお客様の声を直接聞くことができる貴重なポジションであると思っております。イワキからの原料の納入のみならず、このポジションを活かすことでグループとしてのシナジーを発揮してまいります。

Q 3 | 今後に向けた経営課題とその取り組みについてお聞かせください。

当社を取り巻く市場環境としては、メーカー各社が続々とシニア女性に向けてのマーケティングに参入し競争が激化しているという厳しい状況があります。

社内のコンプライアンス体制を強化しつつ、他社との差別化を図るため、現在の会員様が商品やサービスに望まれる本音の心を汲みとりそのご要望にお応えすることが急務と考え取り組んでおります。

幅広い年齢層の方々から「選ばれるブランド」となるために、化粧品、健康食品の分野にこだわらず、アパレル関連の商材開発、機能性表示食品及び一般食品部門への展開も視野に置いて積極的に推進してまいります。

今後のアプロスの成長にご期待ください。

TOPICS

～アプロスの最近の出来事をご紹介します～



国際優秀品質賞は同製品が3年連続以上、金賞以上を受賞した製品に授与される賞

モンドセレクション3年連続金賞受賞「国際優秀品質賞」受賞！

販売累計が150万個*を超えた主力商品、化粧下地「セルフューチャーシルキーカバーオイルブロック」が3年連続でモンドセレクション金賞を受賞しました。同商品は、国際的な評価機関において高品質、かつ安全で有効的な商品として大勢の方々からご支持いただいていることが認められ今回の受賞に至りました。今後もお客様に喜ばれる商品の開発に尽力してまいります。

*2015年12月31日現在

「セルフューチャー 泡立つホワイトパック」テレビCM絶賛放映中!

いま話題の炭酸パック「セルフューチャー 泡立つホワイトパック」のテレビCMが2016年4月より放映されています。濃密泡の炭酸パックが自宅で簡単にできることに加え、同CM「初体験 東京篇」では、同じ野球クラブに子供を通わせているママ友の皆様がその場で「泡立つホワイトパック」を試すことで、目に見えて感じる透明感と弾けるようなハリを初体験している楽しい様子が大好評です。



CMでは日頃商品愛用しているお客様の声も紹介



大人の肌に似合う「ローズ(口紅)」と「レッド(ほお紅)」

メイクアップ商品 新発売!

2015年12月より、新商品としてメイクアップ商品のラインアップに、口紅「ラグジュアリールージュ」、ほお紅「ラグジュアリーチーク」の2つのアイテムが加わりました。スキンケアから始まるメイクアップラインの展開に、「若々しく明るい印象に仕上がる」と人気を博しております。

商号：アプロス株式会社
本社 〒103-0016



東京都中央区日本橋小網町19-8 IW日本橋ビル6階
設立：2000(平成12)年4月11日
事業内容：化粧品の製造販売業 健康食品の製造販売業

お問合せはこちら：アプロス株式会社カスタマーセンター
03-6740-4871

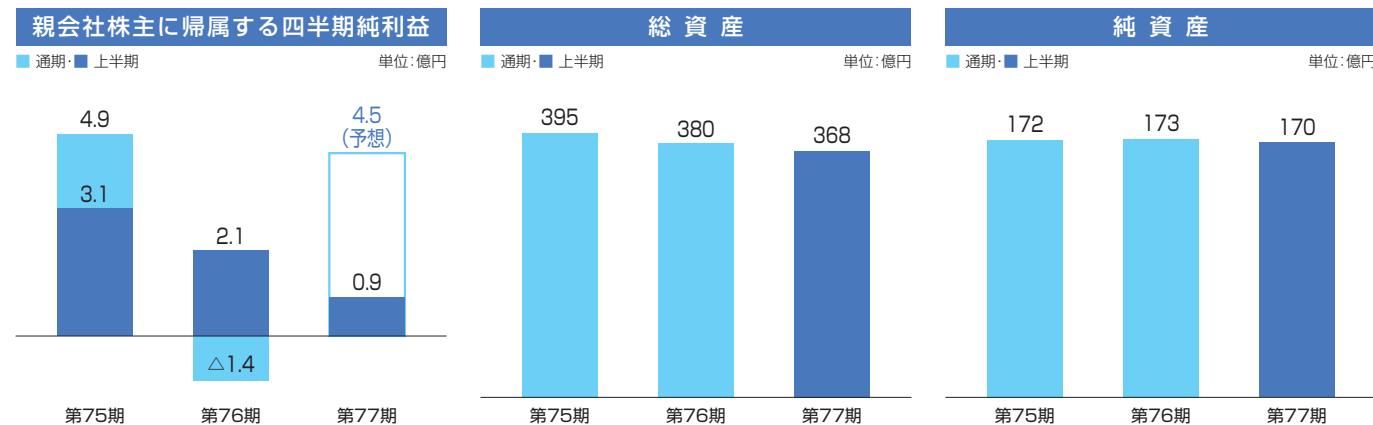
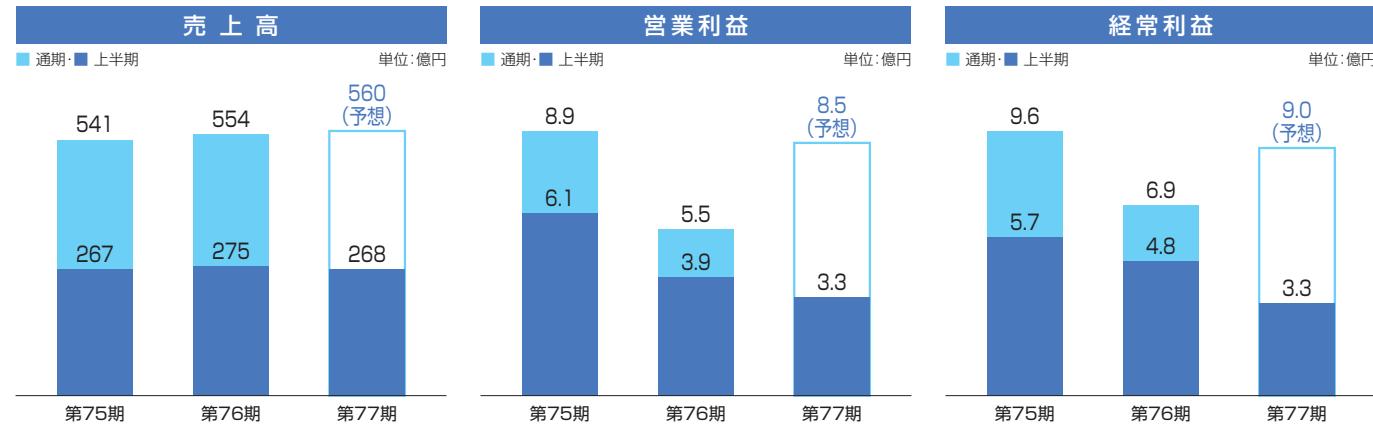
受付時間月曜日～金曜日(AM9:30～PM5:30) ※土日祝祭日を除く
インターネット：<http://www.apros.co.jp/>

アプロス

検索

上半期連結決算ハイライト

		(前年同期比)
売上高	268億円	2.4%減
営業利益	3.3億円	16.8%減
経常利益	3.3億円	30.7%減
親会社株主に帰属する四半期純利益	0.9億円	54.8%減



第5回株主様アンケート 集計結果のご報告

アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。その結果概要につきまして、ご報告させていただきます。

「株主の皆様へ」(報告書)についての感想、当社に対し今後期待されること、その他ご意見・ご感想 (一部抜粋)

- 医療品、化粧品、サプリメントと多様な経営で将来楽しみな会社と思っております。(70代以上：一般株主)
- 10年以上持っており、頑張ってる株価が戻ってくることを期待します。(60代以上：一般株主)
- 医薬品、化成品関係の研究開発を期待しています。(70代以上：一般株主)
- 「株主の皆様へ」(報告書)はコンパクトにまとまっていると思う。(70代以上：一般株主)
- ジェネリック医薬品に力を入れてほしい。(60代以上：一般株主)
- 経営の基本方針について、社会へ提供する商品・サービスへの信頼を築く様をお願いします。(70代以上：一般株主)
- 安定的に配当が受け取れるようお願いします。(60代：その他)
- 利益性の向上。特に化成品の再建が必要。(70代以上：一般株主)
- 高齢化で社会保障等は伸長しており、この社会をのがさない経営を！(70代以上：一般株主)
- 中長期ビジョンの達成に期待する。利益還元とともに。(70代以上：一般株主)

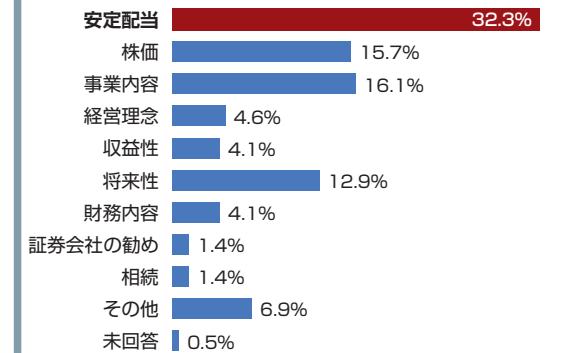
これまで株主の皆様から様々なご意見等を頂戴する中、今回の中間報告書では、それらを参考に、連結財務指標グラフ及び海外グループネットワーク情報を新たに追加掲載いたしました。寄せられたご意見すべてを貴重な財産として、日々の経営やIR活動に生かしてまいりたいと考えております。今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。
イワキ株式会社 IR担当スタッフ一同



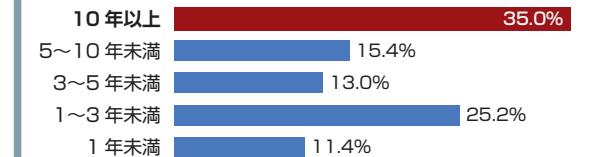
株主様アンケート回答者

回答者数 **123名** (回収率=2.34%)

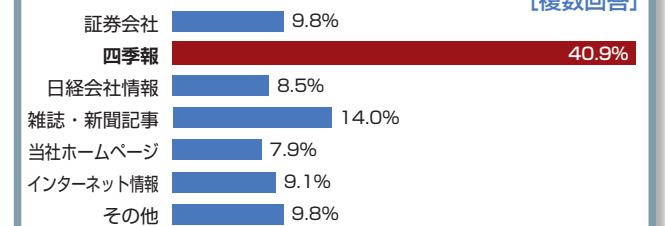
Q1 当社の株式を保有された理由は何ですか？ [複数回答]



Q2 当社の株式の保有期間はどのくらいですか？



Q3 当社に関する情報収集の手段は具体的に何ですか？ [複数回答]



小さな社会貢献活動への取り組み



中央区クリーンデー



5月30日に(ごみゼロの日)を目指し、東京都中央区と東京薬事協会の共催による「中央区クリーンデー」に参加いたしました。小雨が降る中、傘をさしながらの活動となりました。



普通救命講習



実際にAEDの操作などを経験して「いざ」という時に行動できるようにしていきます。



献血活動



4月22日、東京都赤十字血液センターのご協力のもと、本社にて献血を実施し、多くの社員が献血に協力をいたしました。



巻心回収



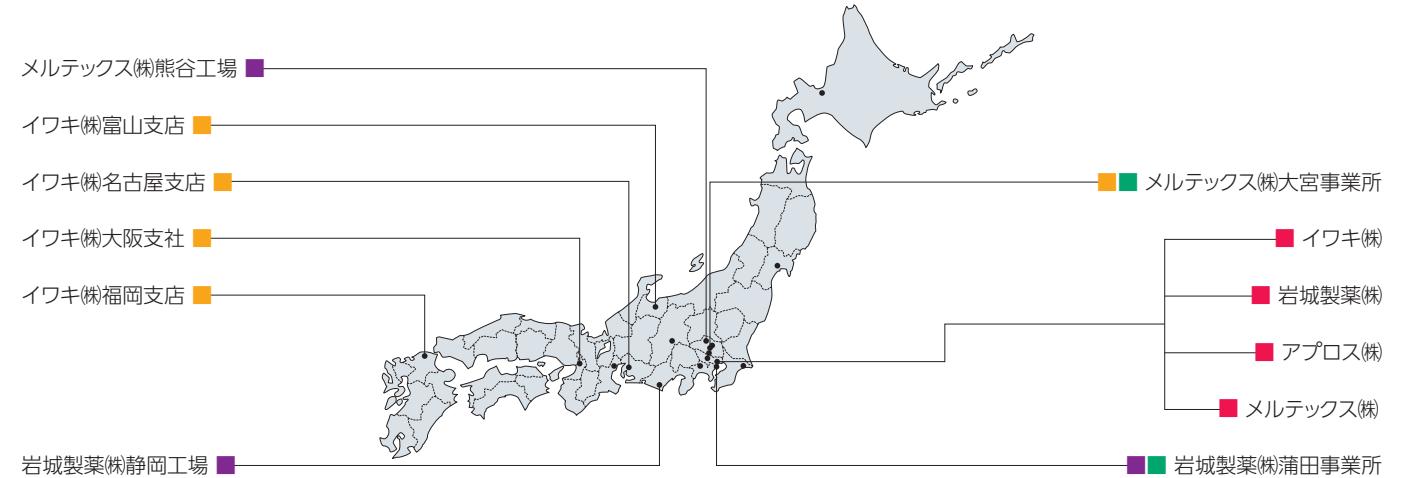
株式会社ニチバン主催の巻心ecoプロジェクトに参加いたしました。

使い終わったテープ類の巻心を集め、資源として再利用するエコ活動です。

イワキグループネットワーク (2016年5月31日現在)

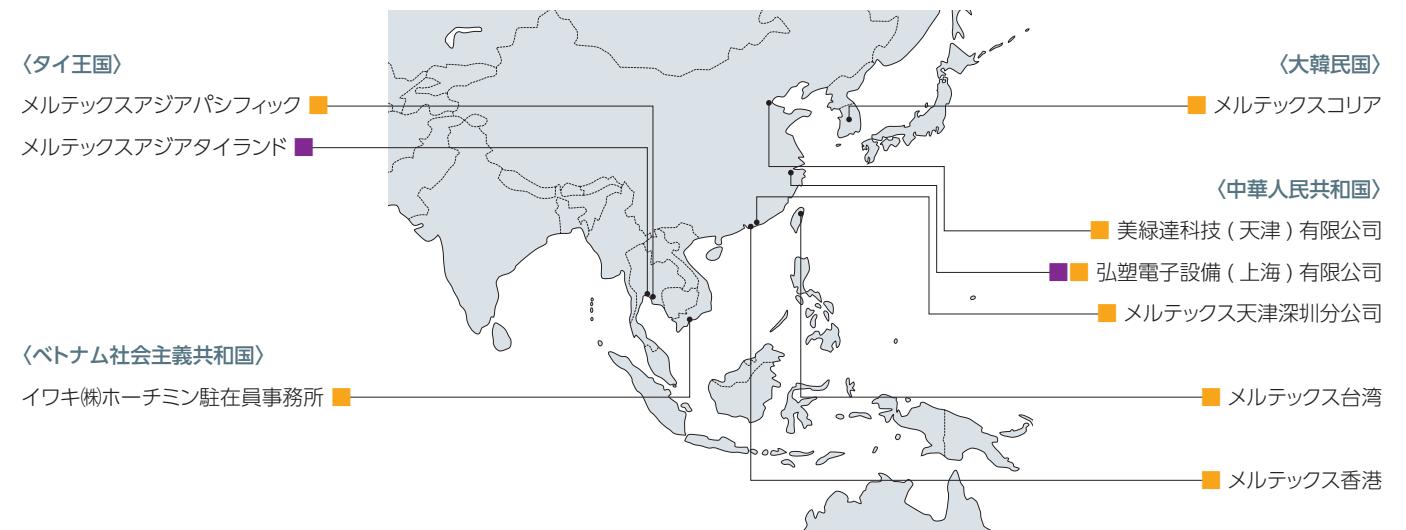
(主要) 国内ネットワーク

凡例 ■ 本社 ■ 生産拠点 ■ 営業拠点等 ■ 研究拠点



海外ネットワーク

凡例 ■ 生産拠点 ■ 営業拠点等



会社概要・株式情報 (2016年5月31日現在)

会社概要

社名	イワキ株式会社
本社所在地	東京都中央区日本橋本町四丁目8番2号
創業	1914年(大正3年)7月10日
設立	1941年(昭和16年)9月20日
資本金	25億72百万円(東証1部上場)
社員数	(単体) 270名 (連結) 921名
主な事業内容	■医薬・FC事業 ■HBC事業 ■化学品事業 ■食品事業

主な事業所所在地	大阪支社 大阪府大阪市 富山支店 富山県富山市 名古屋支店 愛知県名古屋市 福岡支店 福岡県福岡市
主要取引銀行	三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行、三井住友銀行

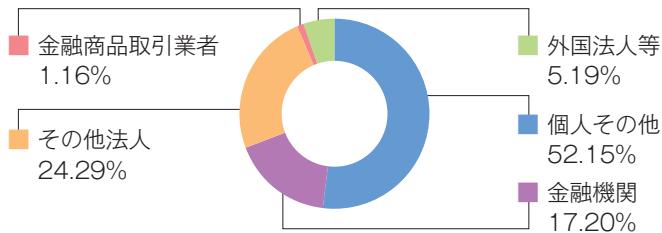
取締役および監査役

代表取締役社長	岩城 修	取締役	熱海 正昭	常勤監査役	関根 和夫
代表取締役副社長	岩城 慶太郎	取締役	伊藤 龍雄	常勤監査役	山口 誠
常務取締役	藤田 久	取締役	古橋 勝美	監査役	吉田 孝
常務取締役	大森 伸二	取締役	越智 大藏	監査役	守山 淳
常務取締役	今野 高章	取締役	川野 毅		

株式情報

発行可能株式総数	136,000,000株
発行済株式の総数(自己株式892,411株を含む)	34,147,737株
株主数	5,236名

■株式分布状況(所有者別分布状況)



(注)持株比率は自己株式(892,411株)を控除して計算しております。

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
明治通商株式会社	2,007	6.03
有限会社ケーアイ社	1,764	5.30
株式会社ヘルスケア・キャピタル	1,663	5.00
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,188	3.57
岩城 修	970	2.91
イワキ従業員持株会	938	2.82
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	777	2.33
株式会社大阪ソーダ	658	1.97
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	635	1.90
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	588	1.76

(注)持株比率は自己株式(892,411株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年12月1日～翌年11月30日	同連絡先
期末配当金受領株主確定日	毎年11月30日	
中間配当金受領株主確定日	毎年5月31日	
定時株主総会	毎年2月	上場証券取引所
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	公告の方法
特別口座の口座管理機関		

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話: 0120-232-711 (通話料無料)

東京証券取引所

電子公告により行う。公告掲載URL <http://www.iwaki-kk.co.jp/>
(ただし、電子公告によることのできない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

- (ご注意) 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



イワキ株式会社

〒103-8403
東京都中央区日本橋本町四丁目8番2号
電話: 03-3279-0481



環境保全のため、FSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。